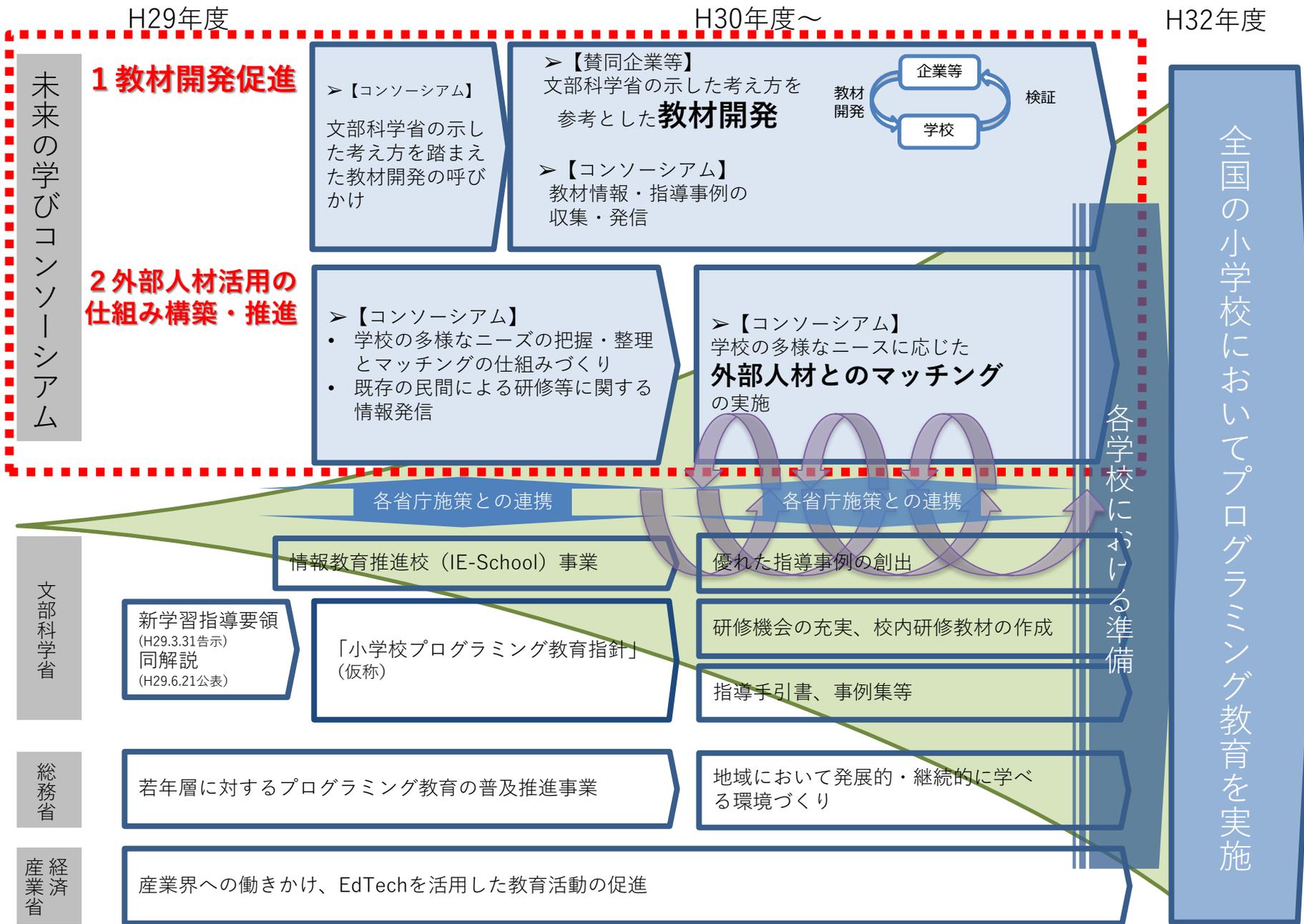


平成29年6月28日
未来の学びコンソーシアム
第1回運営協議会

未来の学びコンソーシアム 今後の活動について

事務局
一般社団法人 ICT CONNECT 21

未来の学びコンソーシアムの取組方針と各省庁の施策との連携

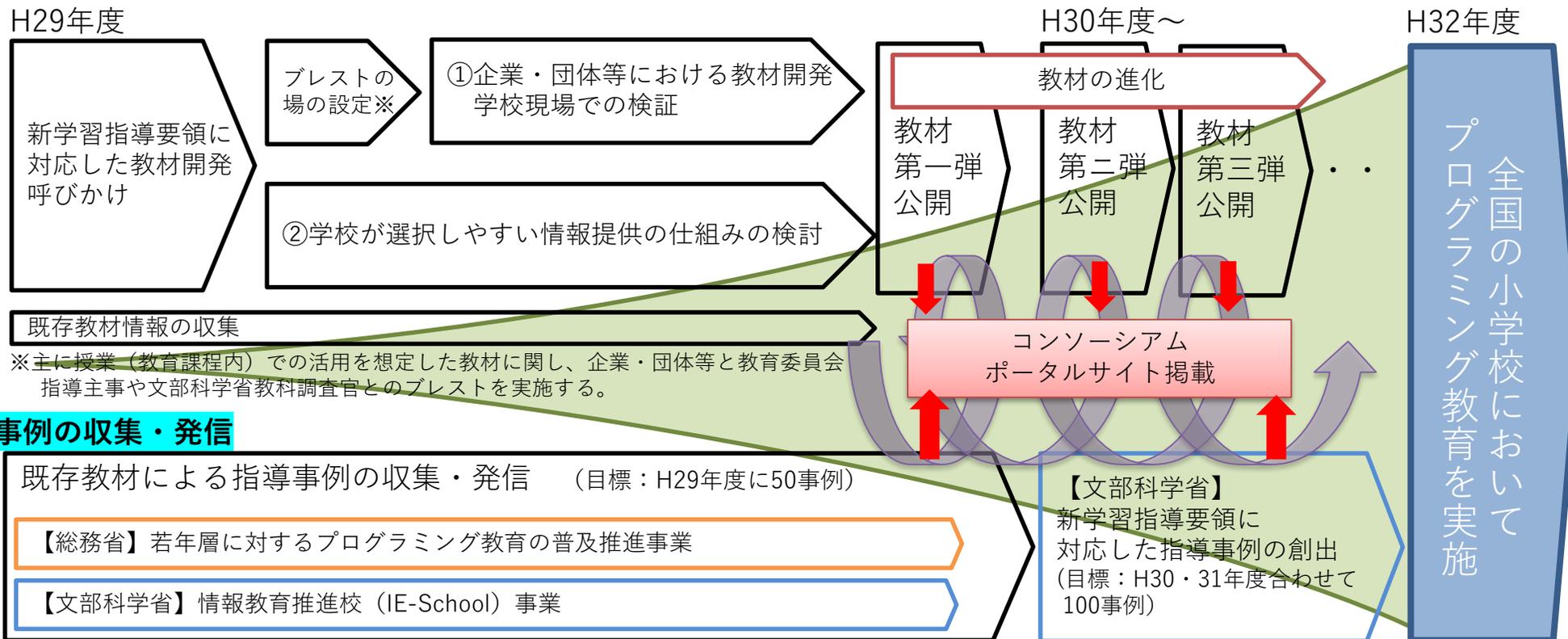


1 「教材開発促進」に係る取組の方向

文部科学省の示した考え方を踏まえた教材開発を幅広く呼びかける。その際、教育委員会指導主事等の学校教育の専門家と企業・団体等とのプレストの場の設定や、開発教材の検証の場となる学校との橋渡しを行う等、継続的に検証・改善を図り、多様な学習機会に対応する教材開発を促進する。

また、新たに開発された教材のほか既存教材の情報や指導事例を収集し、学校が選択しやすい仕組みで情報発信を行う

教材開発促進等



【ご議論いただきたい点】

- ①学校のニーズを踏まえた教材の開発を促進する仕組み
(学校のニーズをどのように吸い上げるか、企業・団体等による開発教材の検証ニーズと学校をどのように結びつけるか等)
- ②学校において教材選択の参考としやすい教材情報の発信の仕組み

2 「外部人材活用の仕組みの構築・推進」に係る取組の方向

学校のニーズに応じた外部人材（企業、NPO等の人材）とのマッチングの仕組みを作り、全国で継続的に支援を実施していく。

H29年度

学校の多様なニーズ※の把握・整理と
マッチングの仕組み作り

- ※・教員の研修に際して、講師等としての支援
- ・授業の実施に際して、ゲストティーチャー等としての支援
- ・授業の準備に際して、IT技術者としての支援
- ・放課後活動等に際して、メンターとしての学習支援 等

既存の民間による研修等に関する
情報収集・発信

H30年度～

学校の多様なニーズに応じた
外部人材とのマッチング
の実施

- 人的支援体制
 - ・教育委員会・学校現場等のニーズにマッチしていること
 - ・全国展開可能な体制であること
- 人材の質の確保および育成

H32年度

全国の小学校において
プログラミング
教育を実施

【ご議論いただきたい点】

- ・地方における外部人材の確保の在り方
- ・どのような業界の協力を求め外部人材を確保するか
- ・外部人材が学校に入るに当たりどのようなことを身に付けておく必要があり、どのように育てるか
- ・地域で学校と企業、NPO等とがうまく協力できるコミュニティをどのように作るか

3 今後の進め方について（案）

以下の3点について、本日いただいた議論を踏まえた上で、必要な体制を整え、早急に検討することとしたい。

➤ 教材開発促進について

【検討テーマ例】

- ・ 学校において教材選択の参考としやすい教材情報の発信の仕組み
- ・ 学校のニーズを踏まえた教材の開発を促進する仕組み
(学校のニーズをどのように吸い上げるか、企業・団体等による開発教材の検証ニーズと学校をどのように結びつけるか等) 等

➤ 外部人材活用の仕組みの構築・推進について

【検討テーマ例】

- ・ 民間の人材が学校のニーズに応じた支援を行いやすくする仕組み
(どのような業界に協力を求めるか、学校へ支援に入る上でどのようなことを身に付けるべきか等)
- ・ 地域において民間の人材が学校と連携できるコミュニティの構築や、地方における人材の確保 等

➤ 普及啓発について

【検討テーマ例】

- ・ プログラミング教育に対する理解促進と支援の機運の醸成
- ・ 多くの関係者に教材・指導事例・人的支援等の情報を届ける手法 等